5 建具改修工事

8 鋼製軽量建具（標準型鋼製軽量建具を含む）

簡易気密型ﾄﾞｱｾｯﾄの性能値の適用は建具表による [5.5.2][5.5.6]

鋼板類の種類 [5.5.3]
・亜鉛めっき鋼板 ・ﾋﾞﾆﾙ被覆鋼板 ・ｶﾗｰ鋼板 ・ｽﾃﾝﾚｽ鋼板

9 ｽﾃﾝﾚｽ製建具

簡易気密型ﾄﾞｱｾｯﾄの性能値の適用は建具表による [5.4.2][5.6.2][表5.4.1]

外部に面する建具の耐風圧性 [5.4.2][5.6.2][表5.2.1]
・Ｓ－４ ・Ｓ－５ ・Ｓ－６

10 木製建具

かまち戸の樹種 かまち（ ） 鏡板（ ） (16.7.2)

ふすまの種別 ・Ⅰ類 ・Ⅱ類 (表16.7.3)

ふすまの上張り ※新鳥の子又はﾋﾞﾆﾙ紙程度 ・鳥の子 (表16.7.3)

ふすまの縁の仕上げ ・塗り縁 ・生地縁 (表16.7.10)

11 建具用金具

ﾏｽﾀｰｷｰ ・製作する（ 本） ※製作しない [5.7.4]

鍵札数量 ※錠前１組に２枚とする ・錠前１組に 枚とする

かぎ箱 市販品 形式 ・30組用 ・60組用 ・120組用 ・

12 自動ﾄﾞｱ開閉装置

自動ﾄﾞｱの開閉機構 [5.8.3][表5.8.4]

開閉方法	引き戸用検出装置の種類
※ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞﾄﾞｱ ・ｽｲﾝｸﾞﾄﾞｱ	・電子ﾏｯﾄｽｲｯﾁ ・ﾀｯﾁｽｲｯﾁ ※光線（反射）ｾﾝｻｰ ・音波ｾﾝｻｰ ・熱線ｾﾝｻｰ ・光電ｾﾝｻｰ ・押しﾎﾞﾀﾝｽｲｯﾁ ・多機能ﾄｲﾚｽｲｯﾁ

凍結防止措置 ※行わない ・行う（ ） [5.8.3]

13 自閉式上吊り引戸装置

※適用する（適用建具及び適用位置は図示による） [5.9.1]

14 重量ｼｬｯﾀｰ

外部に面するｼｬｯﾀｰの耐風圧強度（ ）N/㎡ [5.10.2]

開閉機能 ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式 [5.10.2][表5.10.1]

二重ﾁｪｰﾝ、急降下制動装置、急降下停止装置等を設けた電動ｼｬｯﾀｰの設置箇所 ・図示 ・ [5.10.2]

障害物感知装置を設けた電動ｼｬｯﾀｰの設置箇所 ・図示 ・

屋内用防火ｼｬｯﾀｰ若しくは防煙ｼｬｯﾀｰの危害防止機構
・設ける（設置箇所：・図示 ・ ）
一般重量ｼｬｯﾀｰのｼｬｯﾀｰｹｰｽ ※設ける ・設けない [5.10.2]

15 軽量ｼｬｯﾀｰ

開閉形式 ※手動式 ・上部手動式（手動併用） [5.11.2][表5.11.1]

外部に面するｼｬｯﾀｰの耐風圧強度（ ）N/㎡ [5.11.2]

スラット 厚さ(mm) ・0.5 ・0.6 ・0.8 ・1.0 [表5.11.2]
材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板又は鋼帯 [5.11.3]
形状 ※ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ形 ・ｵｰﾊﾞｰﾗｯﾋﾟﾝｸﾞ形 [5.11.4]

ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ等 ※鋼板製 ・ｽﾃﾝﾚｽ製SUS304（厚さ1.5mm） [表5.11.2]

ｼｬｯﾀｰｹｰｽ 厚さ(mm) ・0.4 ・0.8 [表5.11.2]

16 ｵｰﾊﾞｰﾍｯﾄﾞﾄﾞｱ

[5.12.2][5.12.3][表5.12.1]

セクション材料	開閉方式	収納形式	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ
※ｽﾃｰﾙﾀｲﾌﾟ ・ｱﾙﾐﾆｳﾑﾀｲﾌﾟ ・ﾌｧｲﾊﾞｰｸﾞﾗｽﾀｲﾌﾟ	※ﾊﾟﾗﾝｽ式 ・ﾁｪｰﾝ式 ・電動式	・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ形 ・ﾛｰﾍｯﾄﾞ形 ・ﾊｲﾘﾌﾄ形 ・ﾊﾞｰﾁｶﾙ形	・溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 ※ｽﾃﾝﾚｽ鋼板（SUS304）

耐風圧性能による区分 ・５０ ・７５ ・１００ ・１２５ [5.12.2]

⑰ ｶﾞﾗｽ

下記以外は、建具表による [5.13.2]

・合わせガラス
特性による種類 ※ Ⅱ-1類

・強化ガラス

材料板ｶﾞﾗｽによる種類	特性による種類
・ﾌﾛｰﾄ強化ｶﾞﾗｽ ・型板ｶﾞﾗｽ	Ⅲ類（曲面はⅠ類）

・熱線吸収板ガラス

材料板ｶﾞﾗｽによる種類	色調
・熱線吸収ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽ ・熱線吸収網入り磨き板ｶﾞﾗｽ	・ﾌﾞﾙｰ ・ｸﾞﾚｰ ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ ・ｸﾞﾘｰﾝ

・複層ガラス
材料板ｶﾞﾗｽの種類及び厚さの組合せ並びに複層ｶﾞﾗｽの厚さ ・建具表による
耐熱性による区分 ・Ｔ１ ・Ｔ２ ・Ｔ３ ・Ｔ４ ・Ｔ５ ・Ｔ６
日射取得性、日射遮へい性による区分 ・Ｇ ・Ｓ
乾燥気体の種類 ・空気 ・

・熱線反射ガラス

品質	反射皮膜面	材料板ｶﾞﾗｽの種類	映像誤整
※熱線反射ｶﾞﾗｽ ・高性能熱線反射ｶﾞﾗｽ	※内面 ・外面 ・内面	・ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽ ・熱線吸収ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽ ・強化ｶﾞﾗｽ ・倍強度ｶﾞﾗｽ	※行わない ・行う

・倍強度ガラス

材料板ｶﾞﾗｽによる種類の名称	色調
※ﾌﾛｰﾄ倍強度ｶﾞﾗｽ	
・熱線吸収倍強度ｶﾞﾗｽ	・ｸﾞﾚｰ ・ﾌﾞﾙｰ ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ ・

18 ｶﾞﾗｽ留め材

[5.13.2][表3.7.1]

建具の種類	種類
アルミニウム製及び樹脂製	・ｼｰﾘﾝｸﾞ材 ※ｶﾞｽｹｯﾄ(FIX部はｼｰﾘﾝｸﾞ材)
鋼製及び軽量鋼製	※ｼｰﾘﾝｸﾞ材
ステンレス製	※ｼｰﾘﾝｸﾞ材

5 建具改修工事

19 ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ積み

ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ [5.13.5]

寸法(mm)		表面形状		性能等	
呼び寸法	厚さ	色調	パターン	防火性能	耐火性能
		※クリア ・		※無し ・	※無し ・

壁用金属枠及び補強材

壁用金属枠の種類	規格及び補強材等
※アルミニウム製 ・	・標仕16.2.3のｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具の材料による ・

化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 ・
シーリング材料
下表以外は改修標仕表3.7.1による [5.13.5][3.7.2][表3.7.1]

被着体の組合せ	シーリング材の種別		
	記号	主成分による区分	耐久性による区分

20 ガラス用フィルム

名称	種類	張り面	性能値
※ｶﾞﾗｽ飛散防止ﾌｨﾙﾑ ・	第２種	※内張り ・外張り	飛散防止率 95%以上

品質 JIS A 5759による

6 内装改修工事

① 基本要求品質 [6.1.2]

特記以外の建物内部に使用する内装改修工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料及び接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞの放散量はＦ☆☆☆☆を基本とする。なお、該当する材料等がない場合において、Ｆ☆☆☆☆以外の材料等を使用する場合は監督員の承諾を受けること。

② 改修範囲

・既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 [6.1.3]
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示の範囲
・天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 [6.1.3]
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示の範囲
・天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 [6.1.3]
※既存のまま
・図示の範囲

③ 施工数量調査 [1.5.2]

下記の調査結果について、施工方法、施工箇所、施工数量等をまとめた施工数量調査報告書を提出し、監督員の承諾を得て施工する。
・内部床、壁、天井等の改修後に見え掛りとなる既存のｺﾝｸﾘｰﾄ、ﾓﾙﾀﾙ、ﾀｲﾙ、ﾌﾞﾗｽﾀｰ、ﾎﾞｰﾄﾞ等の面
調査内容
ひび割れの幅及び長さを壁面等に図示する。
ﾓﾙﾀﾙ、ﾀｲﾙ、ﾌﾞﾗｽﾀｰの浮き部分を壁面に表示する。また、ﾓﾙﾀﾙの欠陥部分（ﾓﾙﾀﾙ目地を含む。）を調査する。
仕上材の欠損部、腐朽部、脆弱部を壁面に表示する。
・ｶﾊﾞｰ工法による床・壁・天井改修箇所の下地材
調査内容
既存下地材の不陸、脆弱部、欠損部を調査する。
天井下地組の強度、腐朽状況を調査する
・改修工事後も使用する建具（枠、額縁を含む。）
調査内容
建具の建付け状況、建具金物の不具合の有無、仕上げ材の欠損部、腐朽部を調査する。
・設備工事及び既存部分と改修部分との取合い部の整合を調査する。
・造り付けの実験台、作業台、流し及び黒板等で監督員が指示したものについて、欠陥部分不具合の有無を調査する。

4 既存床の撤去及び下地補修

・ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ等の撤去 [6.2.2]
※仕上げ材のみ（接着剤とも）
・下地ﾓﾙﾀﾙとも（※図示の範囲）
・行わない（※図示の範囲）
・合成樹脂塗り床の材の除去工法 [6.2.2]
・機械的除去工法
※目荒工法
改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 ・ [6.2.2]

5 既存壁の撤去並びに下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2][4.4.9]
※図示
・[4.4.9]ﾓﾙﾀﾙ塗替え工法
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置
※ｽﾃﾝﾚｽ製ｱﾝｶｰﾋﾟﾝを縦横200mm程度の間隔に打ち込み、ｽﾃﾝﾚｽﾗｽ等を張る。
・図示

6 木下地等

表面仕上げ [6.5.1][表6.5.2]

表面仕上げの種別		適用箇所
機械加工	・Ａ種	
	・Ｂ種	
	・Ｃ種	
手加工	・Ｈ－Ａ種	
	・Ｈ－Ｂ種	
	・Ｈ－Ｃ種	

6 内装改修工事

6 木下地等

「製材の日本農林規格」による製材 [6.5.2]

品目名	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理
・下地用針葉樹製材			※２級 ・		※Ａ種 ・Ｂ種 ・	
・造作用針葉樹製材			・上小節 ・小節以上		※Ａ種 ・Ｂ種 ・	
・広葉樹製材			※１等 ・		※10%以下 ・Ａ種 ・Ｂ種 ・	

「製材の日本農林規格」以外の製材 [6.5.2]

施工箇所	樹種	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	含水率
・			（ ） 造作材の場合 （※Ａ種 ・Ｂ種）	・適用する ・適用しない	※Ａ種 ・Ｂ種 ・

・樹種のうち杉は、県産材を使用する

7 集成材

造作用集成材等 [6.5.2]

品名	規格・品質	心材の樹種	化粧単板の樹種	見付け材面数
・造作用集成材	※１等 ・２等		・	・
・化粧ばり造作用集成材	※１等 ・２等	・	・	・
・化粧ばり構造用集成材	・１等 ・２等	・	・	
・	・	・	・	・

直交集成板 [6.5.2]

品名	強度等級	種別	接着性能（使用環境）	樹種
・異等級構成直交集成板	・	・Ａ種 ・Ｂ種	・Ａ ・Ｂ ・Ｃ	・
・同一等級構成直交集成板	・	・Ａ種 ・Ｂ種	・Ａ ・Ｂ ・Ｃ	・
・	・	・	・	・

8 合板等

合板等 [6.5.2]

品名	板厚	接着の程度	樹種	防虫処理
・普通合板	※5.5mm ・	※１類 ・２類	・	・適用する
・構造用合板	※12mm ・	・特類 ※１類	・	・適用する
・化粧ばり構造用合板	・	・特類 ・１類	・	・適用する
・天然木化粧合板	・	・１類 ・２類	・	・適用する
・	・	・	・	・

9 防腐・防蟻処理

防腐処理 ※行う（適用範囲 ※改修標仕6.5.5(1)による ・図示） [6.5.5]
防蟻処理 ・行う（適用範囲 ） [6.5.5]
防腐・防蟻剤はｸﾛﾙﾋﾟﾘﾎｽ等を含まない非有機ﾘﾝ系の表面処理用木材保存剤とし、種類及び品質等が確認できる資料を監督員に提出し承諾を受ける。
防腐・防蟻処理の方法
工場における加圧式とし、十分に乾燥を行う。
ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて表面処理用木材保存剤を塗布することとする。
薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分
	・Ｋ２ ・Ｋ３ ・Ｋ４
	・Ｋ２ ・Ｋ３ ・Ｋ４

10 軽量鉄骨天井下地

屋外の場合の形式及び寸法 [6.6.3][表6.6.2]
※下表以外は、改修標仕6.6.3及び表6.6.2による

下地材の間隔(mm)			施工箇所
野縁受、吊りﾎﾞﾙﾄ、ｲﾝｻｰﾄ		野縁	
中央部	周辺部		

ただし、建築基準法に基づき指定する条件により、定まる風圧力に対応した工法を改修標仕1.2.2[施工計画書]による品質計画で定める。

既存の埋込ｲﾝｻｰﾄ ・使用する ・使用しない [6.6.4]
あと施工ｱﾝｶｰの引抜き試験 ・行う ・行わない [6.6.4]
屋外の場合の試験
荷重 ・400N ・
箇所数 ・当該階において3箇所程度 ・図示
ふところが3mを超える場合の補強 ※図示 ・ [6.6.4]
屋外の天井の補強 ※図示 ・改修標仕6.6.4(11)による [6.6.4]

11 ビニル床シート張り

[6.8.2]

種類	JISの記号	色柄	厚さ(mm)
※発泡層のないもの	※ＦＳ ・	※無地 ・ﾏｰﾌﾞﾙ柄	※2.0
・発泡層のあるもの		※柄物 ・無地	
・			

工法 ※熱溶接工法 ・突付け（施工箇所 ） [6.8.3]

12 ビニル床タイル張り

[6.8.2]

種類	JISの記号	厚さ(mm)	備考
※ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	ＫＴ	※2.0	
・単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	ＴＴ	・	
・複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	ＦＴ	・	
・置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	ＦＯＡ	・	
・薄型置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	ＦＯＢ	・	

6 内装改修工事

13 帯電防止床ﾀｲﾙ張り

[6.8.2]

種類	厚さ(mm)	性能
・ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	※2.0 ・	体積抵抗値（JIS K 6911による）
・ﾎﾓｼﾞｰﾆｱｽﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	※4.0又は4.5	1.0×10^{9} Ω以下、又は、
・	・	漏洩抵抗値（JIS A 1454による）
・	・	1.0×10^{10} Ω未満

14 誘導用、注意喚起用床材

視覚障害者用ﾀｲﾙ [6.8.2]

適用箇所	種類	寸法(mm)	形状
屋内	・塩化ﾋﾞﾆﾙ系	※300×300 ・	ﾌﾞﾛｯｸﾊﾟﾀｰﾝ JIS T 9251による
	・ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ系	※300×300 ・	
	・磁器又はせっ器ﾀｲﾙ	・	
屋外	・ｺﾝｸﾘｰﾄ系	※300×300×60 ・300×300×30	
	・磁器又はせっ器ﾀｲﾙ	・	

15 ビニル幅木

高さ(mm) ※60 ・75 ・100 [6.8.2]

16 カーペット敷き

・織じゅうたん [6.9.1][6.9.2][表6.9.1]

種別	織り方	ﾊﾟｲﾙ形状	帯電性	色・柄等
・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種	・ｳｨﾙﾄﾝｶｰﾍﾟｯﾄ ・ﾀﾞﾌﾞﾙﾌｪｰｽｶｰﾍﾟｯﾄ ・ｱｷｽﾐﾝｽﾀｰｶｰﾍﾟｯﾄ	・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ ・ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ ・ｶｯﾄ､ﾙｰﾌﾟ併用	人体帯電圧 ※3kV以下 ・	※単一色（無地） ・柄物（標準品）

・タフテッドカーペット [6.9.2][6.9.3][表6.9.2]

ﾊﾟｲﾙ形状	ﾊﾟｲﾙ長(mm)	工法	帯電性
・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ	※5.0～7.0 ・	※全面接着工法	人体帯電圧
・ﾏﾙﾁﾚﾍﾞﾙﾙｰﾌﾟ	※4.0～6.0 ・	・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法	※3kV以下
・ﾚﾍﾞﾙﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ	※4.0		・
・ｶｯﾄ､ﾙｰﾌﾟ併用	・		

・タイルカーペット [6.9.2]

種別	ﾊﾟｲﾙ形状	電気抵抗値(Ω)	施工箇所
※第一種	※ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ	※適用しない	
・	・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ	・10^{9}Ω以下	

⑰ 合成樹脂塗床

[6.10.3][表6.10.4～表6.10.8]

種別	仕上げの種類
・弾性ウレタン樹脂塗床材	※平滑仕上 ・防滑仕上 ・つや消し仕上げ
○エポキシ樹脂塗床材	・薄膜流しのべ仕上げ（※平滑 ・防滑）
	※厚膜流しのべ仕上げ（・平滑 ※防滑）
	・樹脂モルタル仕上げ（※平滑 ・防滑）
	・薄膜型塗床

18 フローリング張り

[6.11.2][6.11.3][6.11.4][6.11.5][6.11.6][表6.11.1～表6.11.6]

品名	樹種	等級・種別	板厚	工法	仕上塗装
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ1等	・なら ・	・1等 ・	※15 ・	・釘留め工法 ・接着工法	・塗装品 ・無塗装品
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ1等	・なら ・	・1等 ・	※15 ・	・ﾓﾙﾀﾙ埋込工法 ・接着工法	・ ・
・天然木化粧複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	・ ・	・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種	・ ・	※釘留め工法 ・接着工法	※塗装品 ・無塗装品
・複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ（大型積層型式）	・かば ・		※18 ・	※のりくぎ併用 ・ビス留め	・塗装品 ※無塗装品

現場塗装仕上げ ・行う（塗料： ） ・行わない [6.11.6]

19 畳敷き

[6.12.2][表6.5.10][表6.12.1]

適用箇所	畳の種別
改修標仕表6.5.10による床組	・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種（※ＫＴ－Ⅲ・ ）
ﾎﾟﾘｽﾃﾚﾝﾌｫｰﾑ床下地	・Ｃ種 ・Ｄ種（※ＫＴ－Ⅲ・ ）

20 せっこうﾎﾞｰﾄﾞその他のﾎﾞｰﾄﾞ張り

[6.13.2][表6.13.1]

種類	厚さ(mm)・規格等
・硬質木毛ｾﾒﾝﾄ板	・15 ・20 ・25
・普通木毛ｾﾒﾝﾄ板	・15 ・20 ・25
・けい酸ｶﾙｼｳﾑ板	ﾀｲﾌﾟ2（無石綿）
・ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板	※ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ（※9.0 ・12.0 ・ ） ・凹凸ﾀｲﾌﾟ（※12.0 ・15.0）（（個）不燃）
・せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	・9.5（準不燃） ・12.5（不燃）
・不燃積層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	9.5（不燃） ・化粧無（下地張り用） ・化粧有（ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様）
・ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ	・9.5（準不燃） ・12.5（準不燃）
・強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	・12.5（不燃） ・15.0（不燃）
・難燃合板	
・普通合板	表板の樹種・ 板面の品質・ 厚さ ※図示 接着の程度・1種 ・2種 防虫処理・行う ・行わない
・	

軽量鉄骨下地ﾎﾞｰﾄﾞ遮音壁の遮音ｼｰﾙ材 [6.13.2]
※適用する ・適用しない

・せっこうﾎﾞｰﾄﾞの継目処理 [6.13.3][表6.13.5]

目地工法の種類	せっこうボードのエッジの種類	施工箇所
・継目処理工法	・ﾃｰﾊﾟｰ ・ﾍﾞﾍﾞﾙ	
・突付け工法	・ﾍﾞﾍﾞﾙ ・ｽｸｴｱ	
・目透かし工法	・ﾍﾞﾍﾞﾙ ・ｽｸｴｱ	